

平成31年度 倫敦日本人学校だより第1号4月11日

新たな出発にあたって

校長

新緑が瑞々しく芽吹く季節を迎えました。本日の入学式で、小学部24名、中学部38名の新生を迎えることとなり、全校児童生徒307名、学校スタッフ総勢36名で、今年度の新たな出発となります。保護者の皆様におかれましては、お子様の御入学、そして御進級、まことにおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私たちは学校を「社会の中で生きぬくために必要な力をつける場」ととらえ、教職員一同「人間尊重・相互信頼の上に立ち、児童生徒の人格の完成と、社会に貢献する人財の育成」を方針として全力で教育にあたってまいります。

学校教育目標

「自ら学び、心豊かにたくましく国際社会を生きぬく児童生徒の育成」

合い言葉「自立・貢献」

今年度から新たに掲げた「合い言葉『自立・貢献』」は、ロンドン日本人学校で学ぶ児童生徒のバックボーンとなる考え方です。「自立」とは、自分の力でやっていくこと。人生は、考え、選択し、決定していくことの繰り返しです。このことを人任せにせず、自ら責任をもってやっていくようにすることが「自立」です。ロンドン日本人学校では、「自立」に向け言葉や文章を操る力、情報を収集し活用する力、考える力、表現する力をつける取組を進めます。また、「貢献」とは、他の誰か、何かのために役立つよう、力を尽くすことです。それが回り回って必ず自分自身の力を高め、生きる喜びや幸せへとつながっていくと考えます。そのためには、学校の授業をはじめ、行事や学級活動などあらゆる教育活動の中で、他者の視点に立って物事をとらえる力、目標達成のために他者と協力して問題解決にあたる力等を育てていく必要があります。さらに、これら「自立・貢献」に向け、自己を望ましい方向へとコントロールする力、見通しをもって計画的に行動する力などがなければなりません。ロンドン日本人学校では、これらの力をつけた姿を「目指す児童生徒像」とし、「かしこく・すすんでかかわる・たくましく」という言葉でまとめました。

現在、私たちの社会は速く複雑に変化しており、本校で学ぶ児童生徒が、社会に羽ばたくであろう10年後、20年後、その変化は想像もつかない

ところがあります。ロンドン日本人学校では、子ども達がそのような世界にも怯むことなく一歩を踏み出し、やがて社会を担い新たな社会を創りあげていけるような教育を実践してまいります。よろしくようお願い申し上げます。

※ 本校の主な教育活動を紹介します。

- ロンドンタイム（総合的な学習の時間）
- 英語（小学部、週3時間）
外国語B（英会話）授業（中学部、週2時間）
- 現地校交流
- 運動会
- 写生大会
- 文化祭
- 修学旅行（小6：北イングランドとウェールズ、中2：スコットランド）
- 自然体験教室（小5：イングランド西部）
- 社会科見学
- 校外学習
- 進路講演会
- 職場体験学習（中学部2年）

平成31年度児童生徒数（4月11日現在）

小学部			
	男子	女子	計
1年	16	8	24
2年	25	16	41
3年	12	22	34
4年	19	22	41
5年	16	17	33
6年	21	15	36
小学部計	109	100	209
中学部			
	男子	女子	計
1年	19	19	38
2年	13	12	25
3年	22	13	35
中学部計	54	44	98
総計	163	144	307

★ 教職員の異動について

今年度文部科学省から新たに6名の派遣教員が着任しました。また、新しく英会話講師としてAlexander Finch先生、Anna Stockdale先生の2名が着任し、合計36名の教職員となります。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。